

住宅の耐震対策と チェックポイント

昔から、こわいものは、「地震、雷、火事、おやし」などといわれていますが、中でも、地震は突発的におきて、無差別に大規模な被害をもたらし、人々に不安と恐怖心をいだかせます。

阪神・淡路大震災の例にみられるように、地震による建築物の被害は大きく恐ろしいものです。しかし、こうした被害の多くは、構造計画、施工などになんらかの弱点のある建築物に顕著にみられます。建築物の設計施工基準に合った設計がなされており、かつ、適切な施工がなされている建築物であれば、まず、安心です。

そこで、木造住宅の過去の被害例をもとに地震に対する木造住宅の耐震性向上のためのチェックポイントを6ページ～10ページで説明します。わが家の耐震性能について、もう一度、チェックしてみましょう。

参 考

■本県において予想される地震

本県に被害を及ぼすことが予想される大地震としては、現在のところ、東海地震と南関東直下型地震が想定されており、日頃から地震に対する備えが必要です。

○東海地震

駿河湾付近を震源とする海洋型地震で広範囲が強い震動に見舞われる。

(過去の同様の地震 安政東海地震 1854年 M8.4)

○南関東直下型地震

南関東地域を震源とする地震で、地震の規模(マグニチュード)は小さくても局地的に強い震動に見舞われる。

